



The 12th
TRIZ Symposium in Japan 2016

**Enrich Your Creativity
with TRIZ!**

第12回TRIZシンポジウム閉会にあたって

(TRIZ Symposium 2016 in Japan)

TRIZで磨こう あなたの創造力！

(2016年9月1日～2日：早稲田 大学西早稲田キャンパス63号館2F)

NPO法人日本TRIZ協会副理事長

澤口 学



第12回の日本TRIZシンポジウムを振り返って

今年度も2日間(平日)のシンポジウムとして実施致しました

2日間の平日開催の方式が定着してきたと思います

今年もやはり、企業関係者の参加者が多かったと思います。

とはいえ、参加企業の事業規模の拡大と業種の拡がりは感じております。

今後は大学関係者の方にも働きかけていきたいと考えております。

• チュートリアル

今年も、例年通り第1日目の午前中にチュートリアルを実施しました。

TRIZ協会運営の「新しい時代の教育研究分科会」から、システム・アプローチのテーマで古謝秀明氏(TRIZ協会理事)にシステム・アプローチについて、多くの演習を取り入れながら、参加型のチュートリアルを担当して頂きました。



● 特別講演

1日目午後は、2010年ノーベル化学賞受賞者の鈴木章北大名誉教授をお招きして、“人類の進歩に役立つ科学の例”での講演をお願い致しました。有機化学合成に特化した話に及び、どの程度理解できたかは？ではありますが、第一線級の研究者の研究にかける情熱を、最後のQ&Aを通して垣間見ることができたことは大変有意であったと思います。

*一般発表の中では、TRIZの関連技法として、QFDやTMとの連携やイノベーション活動とTRIZとの関わりなどの事例も昨年同様、今年も多く、TRIZの多様な展開の可能性を間違いなく感じる事ができた2日間だったと思います。

● 基調講演

2日目午前は、アレクサンドル・クドリャフチェフ氏の基調講演を配置しました。TRIZマスターの一人であり、“難しい問題と新しい地平～TRIZにおける「難しい」という概念の評価”という一見すると難解なテーマをわかりやすく・かつ興味深く講演して頂けたと思います。



- 一般発表は、オーラル発表が1日目12件+2日目10件、ポスター発表は、2日目実施で5件と合計27件の実績でした。昨年度より2件多い発表件数になっております。来年も今年以上の発表者を期待したいと思えます。

- **参加者**についてですが、**喜ばしいことに昨年度から大きく増えました。**一過性にならないように、シンポジウムの内容を一層魅力的にすることや各団体との連携や広報活動をさらに強化していきたいと思えます。海外参加者ですが、台湾、韓国、ケニア、ロシアの4名でした。傾向的には残念ながら減少ぎみです。発表者はケニアの方からありました。

■参加者数（国内・海外） • 昨年：111名 → **今回：141名**

来年の第13回大会も、より多くの参加者を集められるよう魅力的なシンポジウムを企画していきたいと思っております。

皆様方のご協力も是非ともお願いいたします。



■ シンポジウム実行委員会

実行委員長：三原祐治

実行副委員長（兼会計担当）：津波古和司

実行委員（事務局）：池田理、福嶋洋次郎

実行委員（ポスターセッション担当）：福嶋洋次郎

実行委員（ライブ翻訳）：津波古和司、小西慶久

実行委員（広報担当）：前古護、広報委員会

プログラム委員長：小西慶久

プログラム委員：坪倉紀子、澤口学、有田節男

■ 開催準備協力

ポスター&パンフレットデザイン：志方淳子、

開催準備：長谷川陽一、古謝秀明

■ 会場設営&シンポジウム運営

TRIZ協会運営委員（敬称略）



会場関係

今回のシンポジウム開催に当たり、会場の使用を快諾戴き、また種々の便宜を図って戴きました。

早稲田大学創造理工学研究科経営デザイン専攻の関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。



第12回日本TRIZシンポジウム 閉会にあたって

シンポジウムも予定された日程を終えました。

- 技術問題解決/ビジネス問題解決/大学の研究/社内教育展開などに対するTRIZの使い方（他の技法:QFD, TM, VE等との組合せも含む）の充実した内容の発表が行われました。
これも皆様のご協力があったのものであります。厚くお礼を申し上げます。

これらの知見を皆さんの所属機関に持ち帰って、TRIZの研究/利用/応用に役立てていただけるものと期待します。

*運営面では、A会場とB会場が隣接しているため、移動等の無駄もなく、スムーズな案内ができたのではないかと思います。ただ、反省点としては、キャンパス内が工事中だったこともあり、食堂等への移動ではご不便をおかけしたかなとは思っております。



日本TRIZ協会からのお願いとお誘い

- TRIZシンポジウムでの活動はもとより、日本TRIZ協会の活動は会員ベースの公共的なボランティアベースの非営利法人活動で行われています。
- TRIZを、広く日本に普及し、それによる産業の発展をめざして、研究会活動の参加をはじめとして、TRIZ協会の活動に皆さんの積極的なご参加をお願いします。

<研究会活動>

- 1) 知財創造研究分科会（主査：長谷川公彦氏）
- 2) ビジネス・経営TRIZ研究分科会（主査：吉澤郁雄氏）
- 3) 新しい時代のTRIZ教育分科会（主査：黒澤楨輔氏）



2017年第13回大会に向けて

■ 来年度は、第13回大会です。

- 日程：2017年9月第二週の7日(木) & 8日(金) (または第一週で調整中)
- 場所：例年通り首都圏で開催予定(数力所の候補地から近々に決定予定)

■ 来年度も可能な限り特別企画等も継続して実施していく所存です。

今から、日程調整をお考えください。

次回のシンポジウムには是非発表をお願いします。

→ 今から発表に向けて準備をお願いします。

と同時に、今年同様活発な意見交換をお願いします。



- ◆ 来年のシンポジウムのためにも、「アンケートの記入」にご協力をお願いします。
- ◆ 「あなたにとって良かった発表」の投票をお願いします。
- ◆ また「名札の回収」にご協力ください。

第12回日本TRIZシンポジウム2016へのご参加を頂き誠にありがとうございました。
あらためてお礼申し上げます。

気をつけてお帰りください



来年またお会いしましょう♪